

2019年度 政務活動費支出明細書

会派又は議員名 新橋 中子

科目	支出日	内容	金額
研修費	2019.8/1~8/2	全国地方議会サミット	14,288円
	2020.1/26	「地方自治と子心エネルギー」全国自治体 交流フォーラム 2019. 立川参加	2,000円
	" 1/26	子心エネルギー2019-1/26 後編 立川参加	500円
合 計			16,788円

活動記録簿

会派・議員名 稲橋 中子

年月日	2019年 8月 1日、2日				
場所	東京ビッグサイト				
相手方	全国地方議会サミット				
参加者氏名	稲橋 中子				
目的・内容 結果等	4-6 議会の議会改革の次のステップと歩みを進める ための目指すべき議会のあり方を議論する内容。立川市議会改革に反映 させたい。				
活動に要した 経費	科目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	行先	利用交通機関	利用区間	金額	
	交 通 費	東京ビッグサイト	JR ゆりかもめ	立川 ↔ 東京 ビッグサイト X2 日間	円
				立川 ↔ 新橋 (637 X 2)	円
				新橋 ↔ ビッグサイト (381 X 2)	円
) X 2日間	4,072 円
					円
		参加費 (会費・負担金等)	内訳: <u>参加費</u>		10,000 円
		そ の 他	内訳: <u>振込手数料</u>		216 円
			内訳:		円
		内訳:		円	
	合 計			14,288 円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

8/1-2 東京ビッグサイト 7F国際会議場



北川 正徳 氏
早稲田大学名誉教授



片山 善博 氏
早稲田大学教授



江藤 俊昭 氏
山梨学院大学教授



栗淵 克哉 氏
法政大学教授

全国 地方議会 サミット

～チーム議会が地域をより良くする～



石塚 茂 氏
衆議院議員



稲津 久 氏
衆議院議員



津野 隼二 氏
衆議院議員

地域を変えるためには、議員だけでなく、議会事務局・執行部、学生やNPOなどの市民、有識者などが団結し「チーム議会」となることが必要です。今回のサミットでは、チーム議会として議会改革の次のステージへと歩みを進める先進的な議会が東京ビッグサイトに集結し、私たちが目指すべき議会の今後のあり方を議論します。

《概要》

【日時】2019年8月1日（木）13：00～17：30
2019年8月2日（金）09：30～16：00

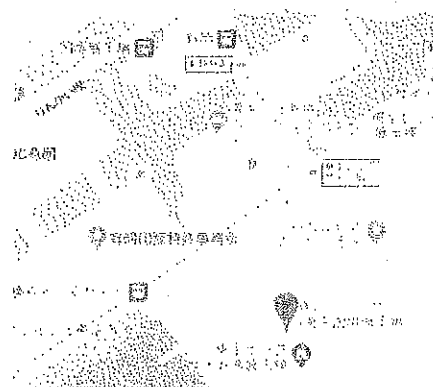
【場所】東京ビッグサイト 7階国際会議場
（東京都江東区有明三丁目11-1）

【対象】議会議員、議会事務局職員、一般 1,000名

【主催】ローカル・マニフェスト推進連盟
マニフェスト大賞実行委員会

【共催】早稲田大学マニフェスト研究所

【参加費】現職議員 10,000円
議会事務局職員、一般 5,000円



ゆりかもめ「東京ビッグサイト」徒歩3分
りんかい線「国際展示場」徒歩7分

※ 参加費は7月26日までに氏名のみを明記しお振込みください。手数料はご負担願います。

※ 必ず事前に振込をお願いします。不測の事態により中止の場合には、ご連絡のうえ返金させていただきます。

（三菱UFJ銀行 日本橋中央支店 普通 0200471 一般社団法人マニフェスト研究会）

※ 参加費は1日のみの参加でも上記金額となります。

お申込み ▶ 裏面FAX用申込み用紙またはwebサイトから
<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

お問合せ ▶ 早稲田大学マニフェスト研究所（担当：長内、中村）
TEL:03-6214-1315 / E-Mail: mani@maniken.jp



■ 1日目：8月1日（木）13:00-17:30 ※プログラムは変更の可能性がございます

【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」13:00～

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

【パネルディスカッション】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」13:20～

江藤 俊昭氏（山梨学院大学教授）

杉田 淳氏（NHK報道局選挙プロジェクト副部長） 久保 隆氏（NHK報道局選挙プロジェクト記者）

【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」14:20～

清水 克士氏（滋賀県大津市議会局次長）

小原 昌江氏（岩手県北上市議会事務局議事課長）

岩崎 弘宣氏（茨城県取手市議会事務局次長）

小林 宏子氏（東京都羽村市議会事務局長）

【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その1）」15:35～

※調整中（株式会社メディアドゥ）

【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」16:20～

片山 善博氏（早稲田大学教授、元総務大臣）

【総括】 北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）16:20～

■ 2日目：8月2日（金）9:30-16:00

【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」9:30～

千葉 茂明氏（月刊「ガバナンス」編集長）

早苗 豊氏（北海道芽室町議会議員）

諸岡 覚氏（三重県四日市市議会議員）

梅村 均氏（愛知県岩倉市議会議員）

【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」10:30～

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

谷畑 英吾氏（滋賀県湖南市長）

越田 謙治郎氏（兵庫県川西市市長）

上村 崇氏（京都府京田辺市長）

【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方を考える」12:20～

中村 健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）

則武 宣弘氏、中原 淑子氏、林 敏宏氏（公明党岡山市議団）

【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」13:00～

米田 英輝氏（東京インタープレイ株式会社代表取締役）

【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」13:40～

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）

瀧野 良枝氏（長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター）

竹下 修平氏（愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議員）

原口 佐知子氏（静岡県牧之原市市民ファシリテーター）

田口 裕斗氏（岐阜県可児市議会高校生議会 元生徒会長、現立命館大学3年）

【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」14:45～

石破 茂氏（自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣）

逢坂 誠二氏（立憲民主党衆議院議員、元ニセコ町長）

稲津 久氏（公明党衆議院議員、党地方議会局長）

廣瀬 克哉氏（法政大学教授）

【総括】 北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）15:45～

＜ FAX申込み用紙 ▶ 03 - 6214 - 1186 ＞

※項目全てにご記入下さい

お名前	稲垣 ゆみ子	電話番号	
ご所属	立命館大学	メールアドレス	
参加内容	<input checked="" type="checkbox"/> 1日目研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 2日目研修会		

「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

【日 時】 2019年8月1日 (木) 13:00~17:30
2019年8月2日 (金) 09:30~16:00

【場 所】 東京ビッグサイト 7階国際会議場 (東京都江東区有明三丁目11-1)

■ 1日目：8月1日 (木) 13:00-17:30

13:00~ 【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」

北川 正恭 氏 (早稲田大学名誉教授、元三重県知事)

13:20~ 【パネルディスカッション】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

江藤 俊昭 氏 (山梨学院大学教授)
杉田 淳 氏 (NHK報道局選挙プロジェクト副部長)
久保 隆 氏 (NHK報道局選挙プロジェクト記者)

14:20~ 【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」

清水 克士 氏 (滋賀県大津市議会局次長)
小原 昌江 氏 (岩手県北上市議会事務局議事課長)
岩崎 弘宜 氏 (茨城県取手市議会事務局次長)
小林 宏子 氏 (東京都羽村市議会事務局長)

15:35~ 【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く (その1)」

松田 崇義 氏 (株式会社メディアドゥ smart書記事業部長)

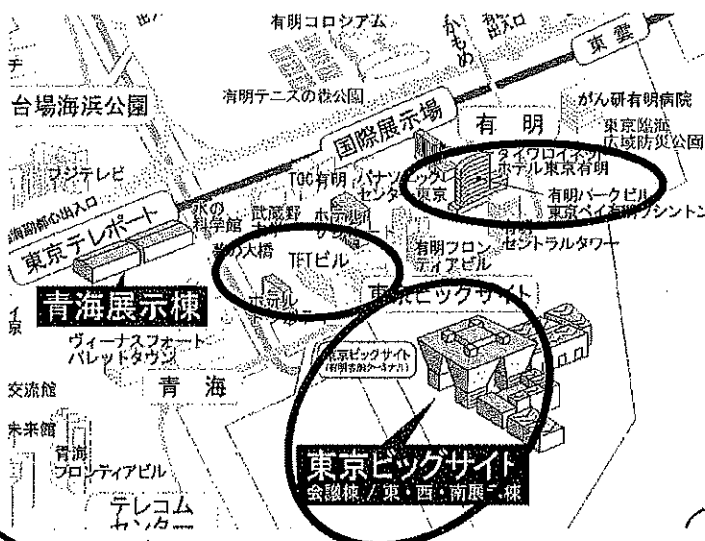
16:20~ 【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山 善博 氏 (早稲田大学教授、元総務大臣)

17:20~ 【総括】

北川 正恭 氏 (早稲田大学名誉教授、元三重県知事)

< 周辺お食事処 >



有明パークビル

レストラン 12店舗
デイリーヤマザキ

TFTビル

レストラン 17店舗
セブンイレブン、ミニストップ

東京ビッグサイト

レストラン 9店舗
ローソン、セブンイレブン

「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

■ 2日目：8月2日（金） 9:30-16:00

9：30～【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」

千葉 茂明氏（月刊「ガバナンス」編集長）
早苗 豊氏（北海道芽室町議会議長）
諸岡 覚氏（三重県四日市市議会議長）
梅村 均氏（愛知県岩倉市議会議長）

10：30～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）
谷畑 英吾氏（滋賀県湖南市長）
越田 謙治郎氏（兵庫県川西市市長）
上村 崇氏（京都府京田辺市長）

12：20～【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方考える」

中村 健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）
則武 宣弘氏（公明党岡山市議団）
中原 淑子氏（公明党岡山市議団）
林 敏宏氏（公明党岡山市議団）

13：00～【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」

米田 英輝氏（東京インタープレイ株式会社代表取締役）

13：40～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）
瀧野 良枝氏（長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター）
竹下 修平氏（愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議長）
原口 佐知子氏（静岡県牧之原市 市民ファシリテーター）
田口 裕斗氏（岐阜県可児市議会高校生議会、現立命館大学3年）

14：45～【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」

石破 茂氏（自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣）
稲津 久氏（公明党衆議院議員、党地方議会局長）
逢坂 誠二氏（立憲民主党衆議院議員、元ニセコ町長）
廣瀬 克哉氏（法政大学教授）

15:45～【総括】

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）



資料はこちら。
ユーザー名のみ
「summit2019」

終了後、アンケート
へのご協力をお願い
します→



活動記録簿

会派・議員名 稲橋 中子

年月日	2020年 1月 26日			
場所	立川市役所			
相手方	「地方自治のこころ施策」全国自治体シナリオ2019刊			
参加者氏名	稲橋 中子			
目的・内容 結果等	2019年10月12日～13日に実施から台風で延期となり11月14日の 開催となりました。規模を縮小して内閣委員会、分科会「自治のこころ 相違・未定省」に参照し、政策として重要位置づけを明確にしました。			
活動に要した 経費	科目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費 (研修費)・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	行先	利用交通機関	利用区間	金額
	交			円
	通			円
	費			円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳: 報告資料集		2,000 円
	その他	内訳:		円
	内訳:		円	
	内訳:		円	
合計				2,000 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム 2019 立川の開催について

1.日時 令和元年10月12日(土)～13日(日) ※10月11日(金)は関係者会議(非公開)

2.場所 たましんRISURUホール及び子ども未来センター

3.目的・特徴(市長定例記者会見資料より抜粋)

- (1) 子ども施策(子ども関係の法律、制度、政策、事業を含む)についての先進事例の研究、意見交換、情報共有
- (2) 「子どもにやさしいまち・コミュニティ」の推進・ネットワーク化
- (3) 自治体職員や専門家等の子ども施策に関する研修機会の提供
- (4) 自治体関係者、研究者、専門家、NPO等の協力による開催

4.主催 実行委員会、立川市、立川市教育委員会

5.全体会メインテーマ

「子ども・若者支援とまちづくり ～とぎれず、すきまをつくらず、そして重なり合う～」

6.プログラム(概要・予定)

	時間	内容
10月11日(金)	13時～18時	関係者会議(非公開)
10月12日(土)	13時～17時30分	全体会 ・オープニング ○立川市立柏小学校による吹奏楽 ○「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」事業報告 ・パネルディスカッション ○立川市長 ○川崎市 副市長 ○豊中市 副市長 ○世田谷区 副区長
	18時～19時30分	交流会(関係者等)
10月13日(日)	10時～16時	分科会
	12時15分～13時15分	・ラウンドテーブル(自治体職員のみ)
	16時15分～17時30分	・公開コーディネーター会議

※ラウンドテーブル 行政担当者の意見交換会

7.市の報告案件等について

- (全体会) ○立川市立柏小学校吹奏楽クラブ
 ○「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」について
 ・ウドラ夢たち基金との協働
 ・平成30年度 新規提案2件の実施報告
- (第2分科会) ○増える要対協ケースと要対協のあり方の工夫～しくみ・連携・情報共有・要保護要支援等の判断～(子ども家庭支援センター)
- (第3分科会) ○地域における子どもの居場所(立川市社会福祉協議会)
- (第5分科会) ○子ども参加による計画策定とウドラ夢たち基金による施策の具体化
 (夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議、ウドラ夢たち基金)
- (第7分科会) ○立川市における子ども・若者の自立支援の総合的な取り組み～子どもの声から始まった「定時制・通信制合同学校相談会」を中心に～(立川市子ども・若者自立支援ネットワーク委員・認定NPO法人育て上げネット)

8.会場

令和元年9月24日現在

10月11日(金) 関係者会議(非公開)

	会場	事前申込人数
関係者会議	RISURU 第1会議室	59

10月12日(土) 全体会

	会場	事前申込人数
全体会	RISURU 大ホール	—
交流会(関係者等)	RISURU 展示室	67

10月13日(日) 分科会・ラウンドテーブル・公開コーディネーター会議

	会場	事前申込人数
第1分科会・相談救済	RISURU 小ホール	60
第2分科会・虐待防止	RISURU 地下サブホール	41
第3分科会・居場所	RISURU 第1会議室	48
第4分科会・子ども参加	子ども未来センター201・202会議室	28
第5分科会・子ども計画	RISURU 第2会議室	25
第6分科会・子ども条例	RISURU 第6・7会議室	31
第7分科会・子ども・若者の自立支援とまちづくり	RISURU 第4会議室	27
ラウンドテーブル	RISURU 展示室	48
公開コーディネーター会議	RISURU 大ホール	—

9.分科会テーマ

第1分科会 子どもの相談・救済

- 1 (基調報告) 半田 勝久 (日本体育大学)
子どもオンブズパーソンとしての子どもの相談・救済機関の役割・責務
- 2 「松本市子どもの権利に関する条例」に基づく子どもの救済・回復支援
—「学校外のスポーツ・文化活動についてのアンケート調査」を中心に—
- 3 子どもの権利に関する総合条例と人権オンブズパーソン
- 4 子どもの権利擁護機関が行う行政と協働した子どもの権利学習
- 5 民間における子どもの相談・救済活動の展開

第2分科会 子どもの虐待防止

- 1 (基調報告) 鈴木 秀洋 (日本大学)
児童虐待防止における市町村の役割—野田市の検証から—
- 2 元市職員から見た虐待防止における市町村支援の重要性
—県の立場になって改めて感じたこと—
- 3 増える要対協ケースと要対協のあり方の工夫
—しくみ・連携・情報共有・要保護要支援等の判断(1)—
- 4 増える要対協ケースと要対協のあり方の工夫
—しくみ・連携・情報共有・要保護要支援等の判断(2)—
- 5 特定妊婦の把握と支援—母子保健と要対協との協働の工夫—
- 6 学校・保育の現場と要支援児童、要保護児童の判断

第3分科会 子どもの居場所

- 1 (基調報告) 西野 博之 (川崎市子ども夢パーク)
「子どもの居場所の公共性と市場化問題で、私たちが忘れてはいけないこと」
- 2 学習支援による「居場所の可能性」—広がる学習支援の質を問う—
- 3 学習支援の質を担保する—京都の学習支援の現状・課題—
- 4 地域主体の学習支援の受け皿を創造する
- 5 「まちいっぱいの子どもの居場所」—子どもの思いに地域がこたえる—
- 6 多世代夕食会「わかば円居(まどい)の家」の取り組み—地域住民の役割とは—

第4分科会 子ども参加

- 1 (基調報告) 林 大介 (首都大学東京)
18歳成人時代における子ども・若者参加のあり方
- 2 町田市子どもセンターにおける、小学生～高校生による運営委員会
- 3 蕪崎市が取り組む中高生世代の第三の居場所「青少年育成プラザ ミアキス」
- 4 「中高生の秘密基地(文京区青少年プラザ)」における中高生世代の参加
- 5 中学生が主体となって取り組む伊那市中学生キャリアフェス
- 6 牧之原市における“行動を起こす力をつける高校生と地域の対話”
- 7 松本市子ども未来委員会による子ども参加の取り組み
- 8 地方議会と中高生世代の対話の現状と課題

第5分科会 子ども計画

- 1 (基調報告) 加藤 悦雄 (大妻女子大学)
どうして今、子ども計画の実現度を高める仕組みが問われているのか
- 2 第二次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画の策定に向けた取り組み
- 3 地域と行政の連携による子どもの貧困対策と外国人支援
—子どもの未来サポートプロジェクト(浜松市子ども・若者支援プラン)—
- 4 子ども参加による計画策定とウドラ夢たち基金による施策の具体化
- 5 子ども若者が主役になるまちづくりについて
—SNS情報発信「情熱せたがや、はじめました。」の実現と検証—
- 6 PDCAサイクルに基づく計画運用

第6分科会 子ども条例

- 1 (基調報告) 吉永 省三 (千里金蘭大学)
今日における子ども条例の意義と役割—国と国際社会の動向を踏まえて—
- 2 子どもの権利に関する条例(H16.1 施行)に基づく子ども施策
- 3 子ども条例(H24.4 施行)に基づく子ども施策
- 4 子ども基本条例(H24.4 施行)とまちづくり
- 5 子ども条例(H30.9 制定)の形成過程と子ども施策のこれから

第7分科会 子ども・若者の自立支援とネットワーク

- 1 (基調報告) 喜多 明人 (早稲田大学)
「子ども・若者の自立支援」問題の論点を整理する
—子ども・若者育成支援推進法制の現段階を踏まえて—
- 2 立川市における子ども・若者の自立支援の総合的な取り組み
—子どもの声から始まった「定時制・通信制合同学校相談会」を中心に—
- 3 生きづらさを抱える若者の支援の現場から、子どもの育ちを改めて問う
—豊中市における若者支援・就労支援の活動をうけて—
- 4 不登校の子どもの居場所支援から若者の就労支援まで
—高根沢町における町営フリースペース「ひよこの家」の活動をふまえて—

活動記録簿

会派・議員名 稲橋 ゆみ子

年月日	2020年 1月 26日			
場所	小金井市市民会館			
相手方	子どもまつり「10-10」の役割について			
参加者氏名	稲橋 ゆみ子			
目的・内容 結果等	「子どもまつり「10-10」の役割について 専門家と話し、 小金井の子どもの権利条例策定委員会に聞かせ、有識者から学ぶ。			
活動に要した経費	科目 (該当科目に○を付けてください)	調査研究費 (研修費)・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	行先	利用交通機関	利用区間	金額
	交			円
	通			円
	費			円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳:	参加費	500円
	その他	内訳:		円
		内訳:		円
内訳:			円	
合計				500円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

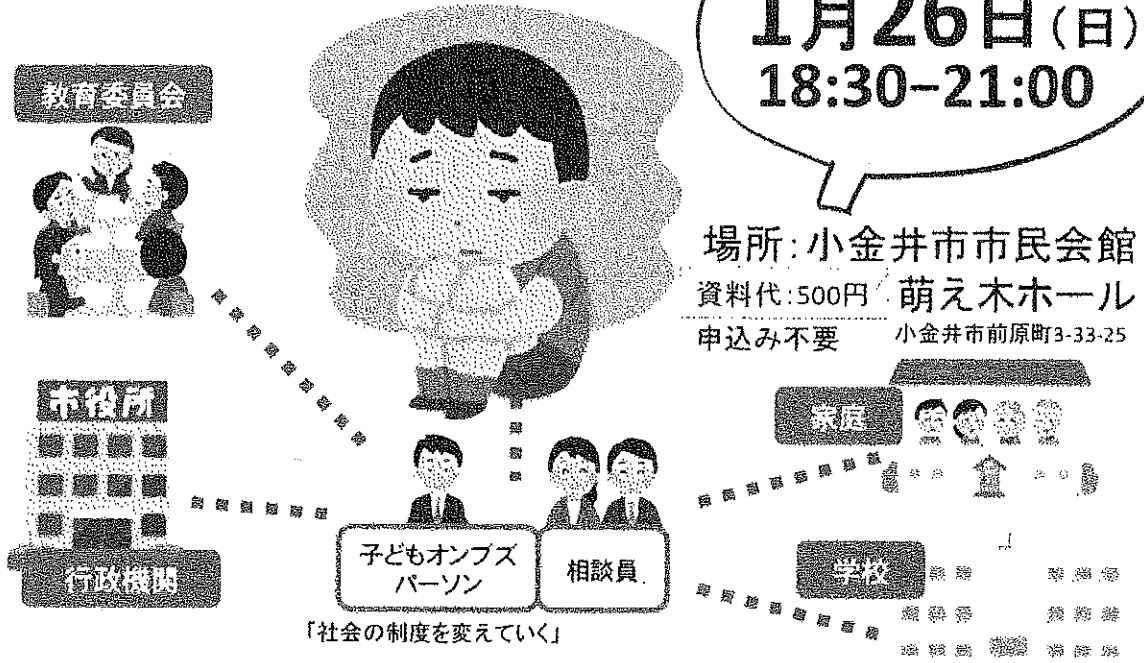
※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

講演会のお知らせ

小金井市子どもの権利条例制定10周年 子どもが主体の街にしよう!

子どもオンブズパーソン の役割ってなに？

2020年
1月26日(日)
18:30-21:00



場所: 小金井市市民会館

資料代: 500円 萌え木ホール

申込み不要 小金井市前原町3-33-25



講師

吉永省三さん(千里金蘭大学教授)

「小金井市子どもの権利に関する条例」ができて10年。市民からの陳情採択などを受け、のびゆくこどもプランの中で、長く検討課題とされていた「子どもオンブズパーソン」設置に向けて、ようやく市が動き出しました。子どもの権利条例があっても、子どもの権利とは何か、知らないおとなや子どもがたくさんいます。

体罰やいじめなど、様々な課題に悩む子どもたちと共に、問題を解決し、社会の制度を変えていく、子どもオンブズパーソンが今の時代に必要です。小金井の子ども権利条例策定委員会の時にも、勉強会の講師となっていた、吉永省三さんにご講演いただきます。兵庫県川西市にて、全国で先駆けて、子どもオンブズパーソン制度を作った方です。

また、講演後のクロストークには、小金井市子ども子育て会議の子ども権利部会アドバイザーを務められた、喜多明人さんにもご登壇いただきます。ぜひご参加ください!

講演後
クロストーク

喜多明人さん
(早稲田大学教授)



主催
問合せ

いかそう! 子どもの権利条例の会

tel: 090-2460-9303

mail: kdmkenri@gmail.com

後援: 小金井市教育委員会、小金井市

領収書

稲橋ゆみ子様

¥ 10,000

ご利用明細票

但：全国地方議会サミット2019 参加負担金として

2019年 8月 1日

一般社団法人 マニフェスト研究会

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1-5階

電話：03-6214-1315

お取扱日	店番	お取引内容
01-07-29		カード 送金
記号		番号
****		****
取扱番号	お取引金額	
N258	*10,000	
	残高	
4205		
イッパ・ンシャク・ンホウジ・ン マニフェストケン キヌウカイ 送金料金 *216円 振込予定日 01-07-29 イナハシ ユミコ		

ご利用いただきましてありがとうございました。
ゆうちょ銀行

書笺目上付欄

領収書

稲橋ゆみ子様

令和2年1月26日

¥2,000-

但 報告資料集代として

「地方自治と子ども施策」

全国自治体シンポジウム 2019 立川実行委員会

実行委員長 荒瀬 正 敬

領収証

2020年1月26日

稲橋ゆみ子様

★					9	
					7500	

但 参加費
上記正に領収いたしました

✓ 稲橋ゆみ子様の
権利各例の会

内訳
取扱金額
消費税額等(%)